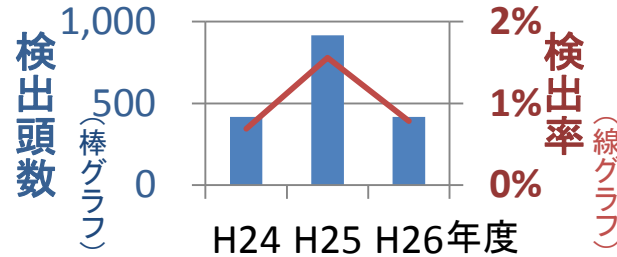


## 豚の慢性疾病 豚抗酸菌症 にご注意！

### ■豚抗酸菌症をご存じですか？

豚抗酸菌症は経口感染により起こる常在化しやすい慢性の病気です。県内のと畜検査では年間1～2%の豚で検出されています。



### ■なぜ注意が必要なのでしょうか？

と畜検査で感染豚が検出されると当該部位の内臓は廃棄されます。

汚染農場の出荷豚では検出率が20～70%にも達します。また全身に症状が現れた場合には枝肉も含めて全部廃棄となるため、大きな経済的損失となります。



と畜検査で腸のリンパ節に発見された炎症

### ■予防・対策

飼養衛生管理基準の遵守が基本です。

#### 持ちこまない



- 車両・物品の洗浄消毒
- 手指・靴の消毒設備、専用衣服・靴の設置
- 野生動物の侵入防止

#### 増やさない

菌はオガ粉やジメジメが好き



- オガ粉を使わない
- 糞便除去・清掃をこまめに行い、清掃後は豚房や通路に消石灰を散布

#### やっつける

- オールアウト後の豚舎の洗浄・消毒を徹底

フェノール系やヨード系の消毒薬または石灰が適しています。



## 原因菌について詳しく教えて！

### ■豚抗酸菌症の原因菌

原因菌ミコバクテリウム・アビウム (*Mycobacterium avium*) は非定型抗酸菌の一種で人間の結核菌と類縁の細菌です。本菌は人間の非定型抗酸菌症の原因菌でもあり、せきやたんなど結核に似た症状を示します。エイズ患者などの免疫力の低下した人に感染し易いため、公衆衛生の観点からも重要視されています。

### ■ミコバクテリウム・アビウムはどこにいるの？

本菌は世界中に分布しており土壌、湖沼、敷料のオガ粉、そこに生息する昆虫やミミズの体表及び消化管内容等から分離されています。

日本では敷料としてオガ粉を大量に使用し始めたことに伴い症例が増加してきました。汚染農場の未使用オガ粉から発症豚と同じ菌が分離されたことから感染源としてのオガ粉の重要性が裏付けられています。

### ■豚から人間に感染するの？

これまで豚が人間への直接の感染源となった事例は確認されていません。しかし、人間の非定型抗酸菌症患者から分離された菌と同様な特徴を持つ菌株が豚からも分離されているため、感染豚などに触れる可能性のある時にはマスクや手袋を着用する等注意が必要です。

異常がありましたら家畜保健衛生所へご連絡ください。



**飛騨家畜保健衛生所** (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL: **0577-33-1111(内線405)**

FAX: 0577-32-9019

E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp